

## 地域の経済動向（令和5年1～3月期）

### 《十勝地域》

#### 1 経済動向に係る企業等の声（1～3月期）

##### 【建設業】

- ・ 募集しても人が集まらず、人を採用してもすぐに辞めてしまい定着しない状況。特に、事業所が帯広市内から離れるほどその傾向が高い印象。（商工会）
- ・ コロナ前からどの業種も人手不足感はあるが、特に建設業は人手不足で、外国人労働者を雇いながら何とか事業を継続している状況。（商工会）

##### 【製造業】

- ・ 電気料金の値上がりにより、食品加工製造に係る経費が倍以上（もう一棟工場を建てたような状況）となり、非常に苦しい状況。（食料品製造業）

##### 【卸売・小売業】

- ・ 昨今の物価高騰等の影響について、LP ガス販売については全く影響を受けていないが、ガソリン販売については若干の売上げ減がある。（例えば、今まで給油時に「満タン」と注文を受けていたところ、「〇〇円分」などの金額指定の注文が増えたため）（卸売業）
- ・ 電気料金の値上げは、高圧契約をしている大型店（スーパーなど）にとっても影響は大きい（数十万～数百万の費用加算）。今後、低圧契約の料金が上がった際には、B to Cの零細事業者等において特に影響が大きいと想定。（商工会議所）
- ・ 電気料金の値上げに対し、組合として、最も大きい支出を占めるのが冬季のロードヒーティング代であり、捻出に苦慮している。（商店街振興組合）
- ・ 電気料金の値上げに対し、補助制度や助成金などがあれば非常に助かる。（商店街振興組合）
- ・ 公的制度による事業承継相談スキームは無料だが支援に時間がかかる、一方で銀行などの民間サービスだと短時間で済むが費用が高額になると聞いている。事業承継支援に係る補助金などがあるとありがたい。（商工会議所）
- ・ ここ2-3年、創業に関する相談も増えているように思う。創業に係る補助金など、恒常的に創業支援していただくとありがたい。（商工会議所）
- ・ 元請け事業者から、インボイス制度に対応出来ていない事業者についてどのように対応したら良いか、という相談が多い（インボイス制度に対応していないだけで、即取引先を変更するわけにもいかない）。（商工会議所）
- ・ BCP について、コロナ禍において、その必要性は改めて認識したところだが、何から取り組んで良いのか分からない事業者も多い。（商工会議所）
- ・ 組合員の事業閉鎖に伴う脱退により、会費収入が大幅に減るため、例年組合費で賄っていたイベントの一部費用を来年度から捻出するのが難しい状況。（商店街振興組合）

##### 【運輸業】

- ・ LP ガススタンドの主客であるLP ガス車のタクシーが、低燃費のハイブリット車（プリウス等）にシフトしている。また、LP ガス車を使用している自動車学校も、車両の経過年数による更新の動きがある。これらのことから、LP ガスを燃料とする自動車が増減しており、LP ガススタンドの撤退の動きが続いている。（LP ガス事業者）

##### 【サービス業】

- ・ 12月から3年ぶりに営業再開。年内はシンガポールからの予約で盛況。年明け以降はオーストラリアからの予約が堅調。（宿泊業）
- ・ コロナ前から、客単価向上を意識したサービス及び設備の改善を意識していたことや、もともとの客層が個人客中心（インバウンドは年間全客数の1割未満程度）であるため、団体中心の業態と比べると、コロナの影響は最小限になっている。（宿泊業）
- ・ 飲食業については、ランチ営業など昼の客層は戻ってきている印象。しかし、居酒屋については、企業など大口の団体客の予約が戻らない業況が続いている。また、スナックも2次会で客が戻らず厳しい状況。（商工会）
- ・ 年末年始の予約状況は堅調だが、人手不足の影響を受け、働き手の確保は苦戦している。（宿泊業）





**【全体】**

- コロナの影響が依然として見られるものの、個人消費や観光関連等に持ち直しの動きがみられ、全体として緩やかに持ち直している。(金融機関)
- 円安等による原料価格高騰に加え、電気料金の値上げともなれば、価格交渉力の弱い零細事業者は非常に厳しい。ある食品製造業では、国産大豆の仕入れが1.5倍になったと聞いている。(商工会議所)
- 地元志向や実家志向(職場と実家の近さ)が強い若者の中には通年雇用を選択しない季節労働者も多い。(協議会)
- どの業種でも人手不足であり、離職防止の観点に加え、入札加点制度における賃上げ加点に対応し、賃上げを実施した企業もあると聞いている。(商工会議所)
- 最低賃金では求人を出しても募集が集まらず、パートでも1,000円以上の求人となっており、人的コストが上がっている。(商工会)









## 2 道内金融機関から見た地域景況感 (1～3月期)

① 非常に好調 	② 好調 	③ やや好調 	④ 普通 	⑤ やや低調 	⑥ 低調 	⑦ 非常に低調 
---	--	--	--	--	--	---

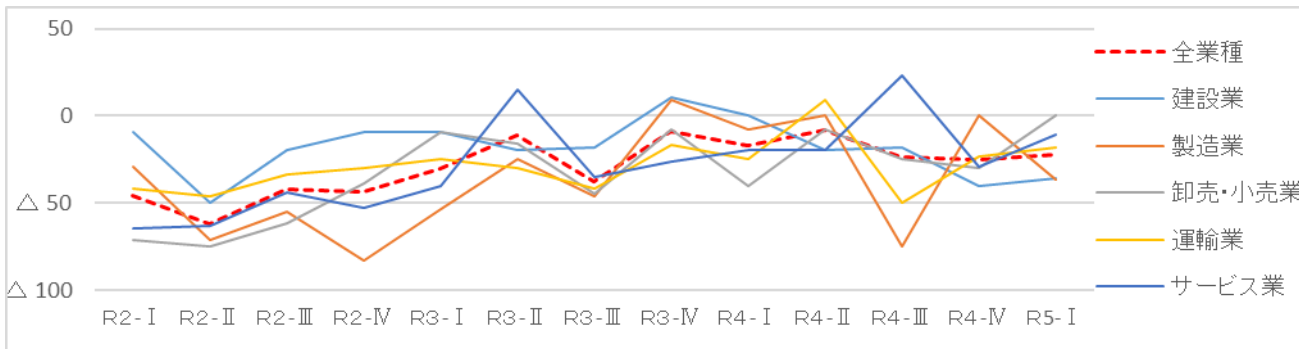
## 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				当金庫が実施した今期の地域企業景気動向調査では、地域企業の「業況判断DI」は△18 と、前期実績(△25)と比べ「悪い超」幅を縮小した。「売上額」、「収益」はいずれも前期に比べて改善した。これは、「仕入れ・材料価格」の上昇判断が前期に比べて改善したことなどによる。生産動向については、製造業の「業況判断」は3期振りに前期比改善した。消費動向については、小売業の「業況判断」は2期連続で前期比改善した。		次期の「業況判断」は△21 と、人手不足感の広がりなどから今期に比べてやや悪化するが、「売上額」、「収益」は今期に比べていずれも「減収・減益超」幅が縮小する。「販売・料金価格」は今期に比べて「上昇超」幅を拡大し、「仕入・材料価格」は、依然高水準ながら「上昇超」幅をやや縮小する見通し。

## 【景況感の推移】

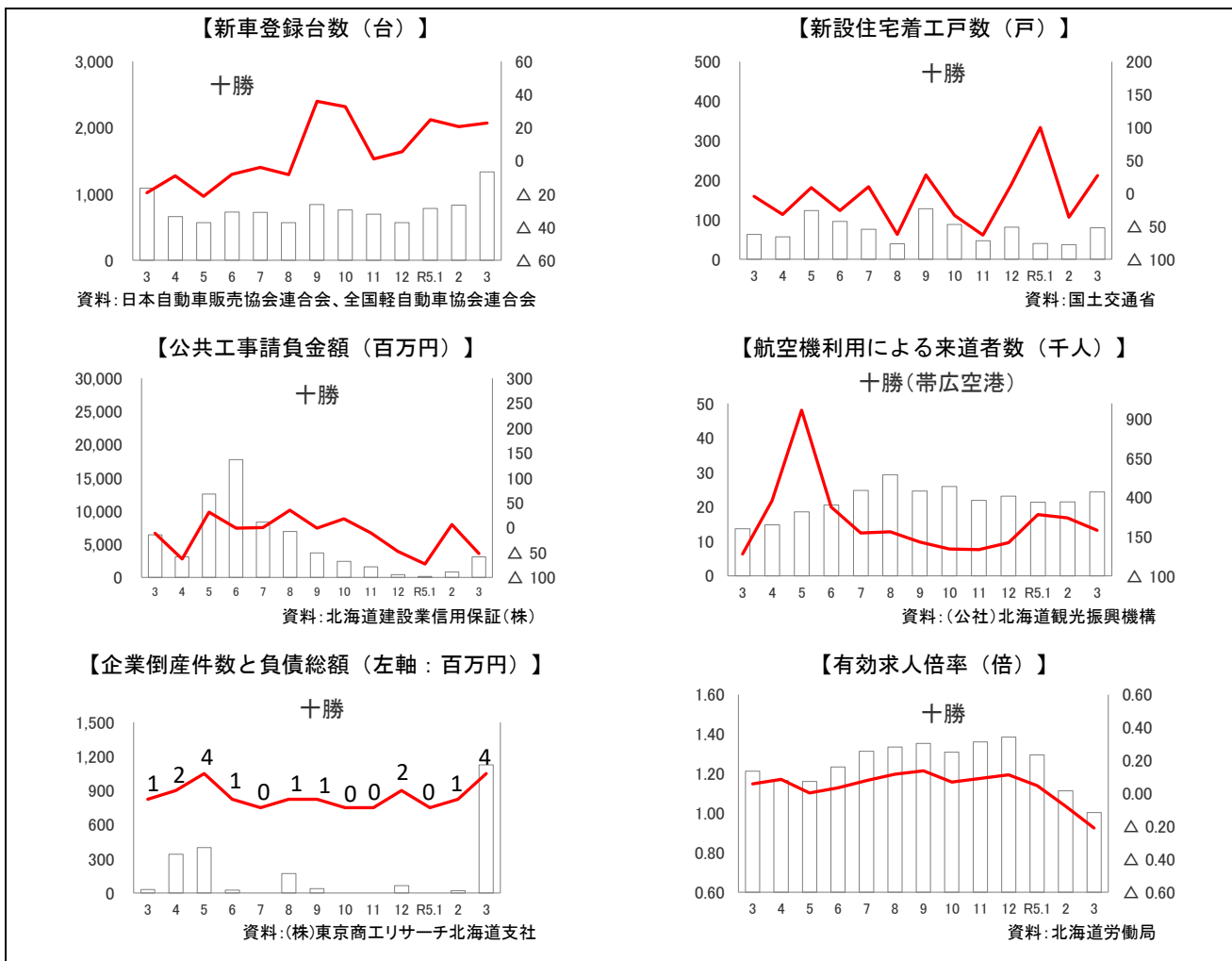
	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I
帯広信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I
全業種	△ 46	△ 62	△ 42	△ 44	△ 30	△ 11	△ 38	△ 9	△ 17	△ 8	△ 24	△ 25	△ 22
建設業	△ 9	△ 50	△ 20	△ 9	△ 9	△ 20	△ 18	11	0	△ 20	△ 18	△ 40	△ 36
製造業	△ 29	△ 71	△ 55	△ 83	△ 54	△ 25	△ 46	9	△ 8	0	△ 75	0	△ 37
卸売・小売業	△ 71	△ 75	△ 62	△ 39	△ 9	△ 16	△ 45	△ 8	△ 40	△ 8	△ 25	△ 30	0
運輸業	△ 42	△ 46	△ 34	△ 30	△ 25	△ 30	△ 42	△ 17	△ 25	9	△ 50	△ 23	△ 18
サービス業	△ 65	△ 63	△ 44	△ 53	△ 40	15	△ 35	△ 26	△ 20	△ 20	23	△ 29	△ 11

### 4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同期比、その他は前年同期比(差)：%)